

平成 28 年 2 月 24 日

要 望 書

愛媛大学長 殿

愛媛大学学生代表者会議委員長
波崎 優太

平成 27 年度学生代表者会議において、各学部全学生及び各サークル等から要望のあった事項を検討の結果、次に掲げる 3 件の事項について要望を提出させていただくこととなりました。大学内の環境が改善され、学生の勉学や生活が円滑に進むことが可能となりますよう、検討の程よろしくお願い致します。

[要望事項]

1. 城北キャンパス内における案内板について

平成 27 年度愛媛大学学生代表者会議で大学に対する改善・要望点についてアンケートを行いました。その結果、城北キャンパス内の案内板が見にくい、不親切であるという意見が挙がっています。実際に調査を行ったところ、経年劣化による汚れも目立ち、さらに現在地を示した図面が少なく、初めて愛媛大学を訪れる方には分かりにくいであろう点多々あり、案内板だけを見て目的の場所にたどり着くのは困難であると想像できます。また、他大学の斬新なデザインに比べて、本学は単純であるとの意見も出されています。

大学は、教職員や学生のみならず、他大学等からの多くの研究者、受験生、高校生、地域の方、業者など不特定多数の方が利用する場です。そのため、誰にでもわかりやすく、親切である案内板が必要です。

以上の事から、城北キャンパス内の案内板を刷新することを要望いたします。また今後、大学で具体的に新しい案内板について企画を進める時には、是非、

私達学生にもアイデアを出す機会を与えていただければ幸いです。

2. スポーツ関連施設の環境改善について

平成 27 年度学生代表者会議の議題として、山越グラウンドのナイター設備、体育館のロッカー改修、プールの改修の 3 点を挙げさせていただきます。

(1) 山越グラウンドのナイター設備

まず、山越グラウンドのナイター設備設置に関する案件です。ナイター設備を設置することで、各部活動や各サークルの活動時間の延長や事故の防止を要望するものです。

これを受けて確認を行ったところ、冬場は午後 5 時を過ぎるとグラウンドは、ほぼ真っ暗になるため、球技系のサークルはこの時間以降の活動が困難な状況にあります。また、サッカー部は、冬場はインカレの時期になりますので、活動時間の延長を懇願している状況にあります。また、陸上競技部は、山越合宿所裏にある簡易照明を使用し、ある程度の明かりを頼りに練習を行っていましたが、それも故障してしまい、スマホなどの照明機能を使用して練習している状況です。

現在の山越グラウンドの状況としましては、グラウンドの四隅には空きスペースは十分にあり、設置に適した場所は多いと思われます。なお、設置に伴うメリットとしましては、各団体の活動時間を延長することができることはもちろん、人と人との衝突やボールとの衝突による事故の防止が考えられます。また、周囲の住宅街には街灯が少なく、溝や電柱などの障害物が多く、交通量も道幅に対して多いので、事故等起こりやすい状況にあります。これらにおいてもナイター設備を設置することで、事故の防止にもつながるのではないかと考えます。

(2) 体育館のロッカー改修

第二体育館ロッカーの改修についての案件も挙りました。

これを受けて体育館で確認を行ったところ、通常利用のできるロッカーが 120 個中 58 個でした。通常利用のできるロッカーの中でも私物化されているものもあり、授業や課外活動で使用できる数は僅かな状況です。また、授業や課外活動の活動中には、鍵がかかってないまま使用していたり、荷物をフィットネスルームの青マットの上に置いていたりするため、金品の盗難や活動中の事故も頻繁に発生しています。

ロッカーの改修によるメリットとしましては、盗難や事故の防止をすることができ、安全性の向上がみられると考えています。また、利便性の向上により、体育館の利用やフィットネスルームの利用者も増えるのではないかと思います。

(3) プール改修

現在の愛媛大学の50mプールは、老朽化によりいくら清掃しても大量の藻が発生し続けており、学生が健康に泳げる正常なプールとして機能していません。一般的には、塩素を投入することにより、藻の発生を抑えられるのですが、塩素濃度を2.0ppm～3.0ppm（厚生労働省の規定は0.4～1.0ppm内）と高くしても藻が発生し続けます。

経年劣化に伴うプール駆体（浴槽）の損傷が、その要因の1つであると考えられ、いたるところにヒビ割れなどが確認できます。その他にも、ろ過設備の配管の不良、ろ材の不良、ろ過能力の不足などが原因として挙げられ、特に、ろ過能力は厚生労働省が定める基準の半分にしか達していないことが確認できました。このままでは数年以内にプールは全く使用できなくなることが懸念され、本学における水泳の授業及び課外活動は麻痺してしまいます。

今後の部活動の運営の他、次年度以降の授業等にも影響を与える状況であるため、昭和44年3月に建設されてから約50年間、改修工事が全く行われなかったと思われる愛媛大学50mプールの改修を要望します。

以上3件、費用のことを考えると、すぐのご判断で前向きに進むものではないことは、重々承知していたしております。しかしながら、将来我々の後輩が入学してきたとき、十分な設備でスポーツに専念できる環境づくりについて大学側に状況と希望を伝えていくことは我々の使命であると考え、提案させていただきました。

3. 聴覚障がい学生のための情報保障に関する要望について

今回の議題の一つとして、「聴覚障がい学生のための支援充実」という案件が挙がりました。これは、ホームページ上での学部紹介ビデオや講義で使用する映像資料への字幕付与や、入学式での情報保障の拡充を要望するものです。

これを受けて、本会議では、実際に愛媛大学のホームページや各学部のホームページを調査し、映像に字幕が付与されているかどうか確認しました。その結果、教育学部や農学部のホームページ上にある紹介ビデオは、音声のみであり、字幕が付与されていませんでした。また、動画サイトのYou tubeにアップロードされている愛媛大学の紹介ビデオには、自動字幕機能が付いているものの、正確な字幕になっていないことが確認できました。

また、聴覚障がい学生への聞き取りの結果、多くの講義で、使用する映像資料に字幕が付与されていない現状が確認できました。さらに、聴覚障がい学生

や保護者への聞き取りの結果、入学式において、2階席や両端の席から手話通訳やディスプレイの文字が小さく見えにくい現状が確認できました。

来年度から、障がい者差別解消法が施行されます。本学の聴覚障がい学生の割合からするとごくわずかですが、彼らは非常に困っており、勉強しようにも一般の学生と同じスタートラインに立てていません。

以上のことから、聴覚障がい学生が少しでも一般の学生と同様の教育を受けられることができるように、また、入学式において聴覚障がい者が全ての席から情報を受け取ることができるように、映像資料への字幕入れと入学式での情報保障について、ご検討いただきますようお願い致します。

[その他の報告事項]

1. 要望を取りまとめている段階で改善済の事項

下記事項を既に改善していただいています。

① 法文学部の自習室の開放日

現 状 平日および土曜日に開放

改善後 来年度より日曜日も開錠し、開放する方向で検討中

② 理学部のリフレッシュコーナーの網戸設置

現 状 リフレッシュコーナーの窓に網戸が設置されていない。

改善後 今年度中に設置予定

③ テニスコート周辺の照明

現 状 21時15分頃消灯しており非常に暗く危ない

改善後 LED照明に変更し、夜間を通して明るくなった。

2. 改善は困難だが要望の多かった事項

改善は困難とは思われますが、複数の要望がありましたので、報告します。

① 図書館の24時間開放

【要望】

昼間は授業のため夜間に自習をする学生が多い。土日も含め、時間を延長または24時間にすることは可能か。医学部・農学部分館にも同様の声

が上がっている。国際教養大学（秋田県）、嘉悦大学（東京都）は図書館全体を、京都大学（京都府）、会津大学（福島県）は自習室や演習室に限り 24 時間開放している。また、北海道大学（北海道）、九州大学（福岡県）では医学部の図書館に限り 24 時間開放している例もある。ID カードでの認証システムや事前申し込みの制度で防犯対策がされている。

【回答】

延長開館を実施しているものの、24 時間開放については、利用者数、人件費等の理由により、現在のところ具体的に実施する予定はない。

② 駐輪場の拡大

【要望】

自転車及びバイクの駐輪場について、一部の時間帯ではあるが飽和状態となっており、学内外問わず駐輪禁止区域に停める者が後を絶たない。

自転車については、駐輪スペースが狭く隣の自転車との距離が近いため、誤って倒してしまう光景もよく見受けられる。通路こそ確保されてはいるものの、見た目が良いとは言い難く、ボランティアが駐輪場内を整理しても追いつかない。

また、バイクについては、距離制限（2.5km）により不便を強いられている学生が多く、大学周辺への違法駐車が常態化しており、住民からの苦情が絶えない。

教職員と学生が協力して抜本的な対策を練ることはできないか。

【回答】

*今回駐輪場が新しくなることから、今回は具体的な検討については行っていない。